

東京都新宿区北新宿1-8-16
東京土建一般労働組合
電話03 (5332) 3971 (代表)
FAX03 (5332) 3972
発行人・編集人
三木 勉

印刷部数11万1500部
(購読料は組合費のなかに含まれています)
(年間購読料 千八百円) 定価 五十円



東京土建のホームページ http://www.tokyo-doken.or.jp/

消費税の転嫁 拒否に注意を
消費税が増税された10月1日以降、消費税の転嫁拒否が増える可能性があります。転嫁拒否にあったらと思つたら、組合や公正取引委員会(☎03-35581-3379)へ相談しましょう。

秋の拡大月間は10月14日現在、全都の拡大数は2193人、拡大率1・91%の到達です。すでに豊島と府中国立の2支部が月間3・5%目標を突破し、年間拡大では板橋、豊島、多摩西部、府中国立の4支部が12%目標に到達しています。



入廷行進をする建設アスベスト訴訟原告と統一本部の役員 (埼玉土建教宣部提供)

王子第8 フェスティバルで対話 地道に声かけを続ける

八王子支部の第4次統一行動の初日にあたる10月9日、第8分會では分會長の坂爪さの事務所に8人の仲間が集



どけんフェスティバル in タチヒのチラシを上久保さん(左)に渡す坂爪分會長(中央)、加藤分會財政部長(右)

合。二手に分かれて訪問行動に出かけました。坂爪分會長、加藤分會財政部長、吉田書記は、11月10日に立川タチヒビレーチで開催する八王子支部50周年イベント「どけんフェスティバル in タチヒ」のチラシを持って、3件の仲間を訪問。BBQへの誘いや豪華ハムセットが当たる仲間の紹介キャンペーンの話で盛り上がり、最初にお訪した上久保さん宅では、奥さんとの会話の中で坂爪さんと一緒に仕事をしたことがあると分かり、仲間の繋がりが確認できました。

並和 キャンペーン切り口に 杉・高 対象者情報聞き出す

「台風、どうなるかなあ」高和分會のセンターに午後7時に集まってきた仲間たちは、台風19号の接近で、仕事や週末の組合の企画を気にしながらも、この日(10月10日)の行動に集中します。杉並支部では、10日は健康診断未受診者呼びかけデーと行動を具体的に指定しています。その提起に応え、鎌田分會社会保証対策部長の指示のもとに電話かけを行いました。



70周年キャンペーンシートを久保田さん(右)に渡す栗林さん(中央)、熊谷さん(左)

9月27日、東京地裁第103号法廷で首都圏建設アスベスト・東京ルート2陣第29回期日が開かれました。この日の法廷では、吉田重勇さん(村山大和)らが意見陳述。吉田さんは、2陣提訴から5年4カ月間に26人の原告が無念のうちにくらなり、1・3人の原告で本人原告は34人になってしまった。遺族原告も高齢化している。命あるうちの全面的な解決を、と訴えました。ま

アスベスト 命あるうち全面解決 東京ルート2陣が結審

を行ない結審しました。(判決は2020年4月17日)開廷前の午前9時から地裁前集會を開き、約3000人が参加。原告の田中更さん(府

「台風の指示のもとに電話かけを行いました。一方、前日に準備しておいた70周年キャンペーンのシートを持って、地域ごとに組合員訪問を実施。熊谷分會長、分會担当の栗林常任、腰塚書記のチームは高円寺南の地域へ向かいました。5件訪問し、奥さんも含め4人と対話に成功するという高確率です。分會で遅れ気味の70周年キャンペーンへの応募を話の切り口にしなが、各種イベントへのお誘いをし、未加入の仲間を情報聞き出す。他支部で会計と折り合いが悪く辞めた仕事仲間がいるが、などと対象者情報も得ることができました。

その後、国会議員会館に移動し、結審大集會を開催しました。児玉晋統一本部副本部長(埼玉土建)の「一人も欠けることなく救済するためにまた、国会からは近藤昭一

9月16日、さようなら原発全国集會に参加しようとして代々木公園へ向かっていったとき、原発集會に行くのですかと、女性に声を掛けられた。その女性は、福島原発事故後、住んでいた双葉町から避難を続けている。19日には東電刑事裁判の判決が出るから注目してほしいと話していた。■東電の勝俣恒久元會長、武藤栄元副社長、武黒一郎元副社長の3人が、業務上過失致死傷罪で強制起訴された裁判であったが、東京地裁の判決は全員無罪だった。裁判の争点は、海拔10メートルの原発敷地を超えて来る津波を予見して、対策を取ることができたのかということだったが、3人とも予見できなかったと主張し、それを認めた判決で、原子力行政に忸度したと批判されている。■福島原発事故が原因で双葉病院の入院患者をはじめとした人々が亡くなっているのに、企業のトップの責任が問われないというのはどういふことか。裁判所は「原発に絶対的な安全性が求められているわけではない」とも言っており、到底容認できるものではない。代々木公園で声を掛けてきた女性は、家賃補助を打ち切られて避難生活が困難になっている人が大勢いると怒りを露わにしていた。原発事故被害は続いている。責任をあいまいにしてはならないだろう。

